

# 巨木の森十二神

巨木の森十二神は、本州最東端の重茂半島中央部に位置し、半島の最高峰十二神山(海拔 731m)の東側に広がる十二神自然観察教育林(鉾山国有林 18 林班 面積 83.16ha)となっています。

この森は、ブナを主体とする林齢 150 年生以上の天然広葉樹林が広がり、直径1メートルを越すミズナラ・トチノキ・クリ・ハリギリの巨木等が混在し、かつて「森の巨人たち百選」に選ばれた「重茂の大ケヤキ(幹回り約 3.8m)」もこの森に現存していました。また、コウモリ類、ニッコウムササビ、ホンシュウモモンガ等をはじめ、鳥類では、オオルリやセンダイムシクイ、冬季にはオオワシ、オオジロワシの姿も見ることができ、数多くの動物が生息する三陸海岸域で最も貴重な自然林です。春の新緑、夏の深緑、秋の紅葉、冬の木立が溪谷や巨石と調和し、四季折々の天然の美観を見せ、巨木の森林へと誘ってくれます。

さらに、半島の稜線から望む雄大な太平洋の景観や海岸線一帯に展開した豪壮な断崖と青く輝く森林は絶景です。



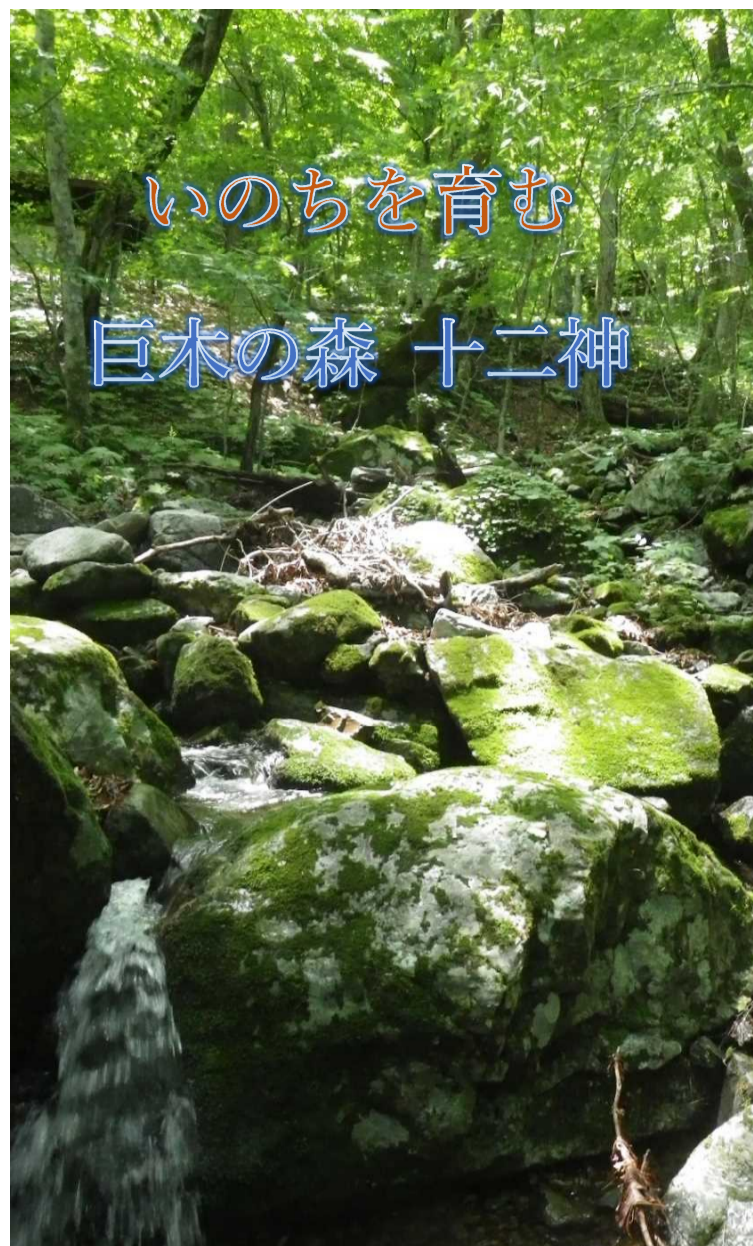
## アクセス

鉄道		
東京	約2時間13分	盛岡
盛岡	約2時間10分	宮古
花巻	約1時間40分	釜石
釜石	約1時間22分	宮古
八戸	約1時間44分	久慈
久慈	約1時間33分	宮古
自動車・バス		
浦和	約505km	盛岡南I.C.
盛岡南I.C.	約100km	宮古
東京	約10時間	宮古
盛岡	約2時間15分	宮古
宮古駅	約24km(バス60分)	自然観察林入口バス停
	約6km(徒歩80分)	巨木の森十二神林道

※各交通機関の最新運行状況をご確認ください。



問い合わせ先：三陸北部森林管理署  
 〒027-0022 岩手県宮古市磯崎崎4番6号  
 TEL:0193-62-6448 050-3160-5900  
 FAX:0193-63-4872  
<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/sanrikuhokubu/>



いのちを育む  
 巨木の森 十二神

**宮古市**  
 東北森林管理局 三陸北部森林管理署  
 国民の森林・国有林

**十二神山**  
 山の中央に薬師如来が鎮座し山頂部の凹凸の一つひとつに薬師如来をお守りする神々が鎮座していることから、十二の神々(十二式神)が鎮座する山ということから付けられたと言われています。

**自然観察教育林**  
 自然の特色を生かした森林環境教育に適している森林です。自然探勝を楽しみながら植生、野鳥などの観察ができ、森林の働きなどを学ぶことができます。また、「十二神千古の森保全協議会」による自主的な保全活動に取り組んでいます。

**三陸ジオパーク**  
 三陸ジオパークは平成25年9月に日本ジオパークとして認定されました。エリアは青森県八戸市から岩手県の沿岸を縦断して宮城県気仙沼まで。南北約220km、東西約80kmで、その海岸線は約300kmにもおよぶ日本一広大なジオパークです(2014年3月現在)。この「十二神自然観察教育林」は、三陸ジオパークの「ジオサイト」(見所)の一つとなっています。

※ジオパークとは、「地球・大地(ジオ:Geo)」と「公園(パーク:Park)」とを組み合わせた言葉で、「大地の公園」を意味し、地球(ジオ)を学び、丸ごと楽しむことができる場所をいいます。

## 十二神巨木歩道マップ

※歩道は簡易な自然歩道であり、不明瞭な箇所があります。また、自然の倒木もあることから十分注意して歩行して下さい。

ここには、宮古市の施設として東屋、炊事棟などが整備され、森林環境教育や自然観察の適地として、多くの方々に利用されています。

宮古駅から里までは路線バスでお越しいただけます。車では、林道沿いに重茂川の渓流や高滝の瀑布を楽しむこともできます。

## 歩道マップで見つけた巨木を記録しよう!

番号	樹種名	特徴	番号	樹種名	特徴
胸高直径: cm	樹高: m		胸高直径: cm	樹高: m	
番号	樹種名	特徴	番号	樹種名	特徴
胸高直径: cm	樹高: m		胸高直径: cm	樹高: m	
番号	樹種名	特徴	番号	樹種名	特徴
胸高直径: cm	樹高: m		胸高直径: m	樹高: m	

## 四季折々の景色が広がる「巨木の森十二神」

<p>・巨樹・巨木の冬</p> <p>冬</p>	<p>・芽吹きの中</p> <p>春</p>
<p>・黄金に色づくブナの秋</p> <p>秋</p>	<p>・さわやかな風が吹く深緑の夏</p> <p>夏</p>

# 十二神散策コース樹木図鑑

樹木の生長量は、測ったりすることで知ることができます。  
あなたが好きな樹木はありますか？  
(※図鑑データ作成年は2016年です。)



**12 ヤマモミジ**  
カエデ科 カエデ属  
胸高直径 56cm  
樹高 19m  
葉の裂片が広いことで普通のカエデと区別できます。紅葉が美しく、庭木や公園樹、盆栽などに利用されています。



**13 ケヤキ**  
ニレ科 ケヤキ属  
胸高直径 113cm  
樹高 28m  
日本の代表的な広葉樹の一つで、街路樹としても植えられています。材は木目が美しく、狂いが少ないので、お盆、漆器の木地、家具など広く使われています。



**14 イヌシデ**  
カバノキ科 クマシデ属  
胸高直径 62cm  
樹高 22m  
シデは四手のことで、花穂の様子を四手に見立てたもの。(四手は神棚に捧げる玉串やしめ縄などにつける白い布や紙で作ったもの)



**15 オオモミジ**  
カエデ科 カエデ属  
胸高直径 56cm  
樹高 20m  
秋には広葉でもやや黄色味がかることが多い。庭木、公園樹、盆栽として利用されています。



**16 アワブキ**  
アワブキ科 アワブキ属  
胸高直径 16cm  
樹高 9m  
泡吹きの意味で、切った枝を燃やすと、切り口からさかんに泡が出ることから名が付けられました。



**17 アサダ**  
カエデ科 アサダ属  
胸高直径 83cm  
樹高 28m  
材は緻密で強く、粘りがあるので、床材などの建築材や家具などに使用されています。

「十二神併用林道」に至る

駐車場

初級コース

案内板

カトキサ

中級コース



**28 ハリギリ**  
(別名：センノキ)  
ウコギ科 ハリギリ属  
胸高直径 70cm  
樹高 25m  
家具材として利用価値が高く、名前は針桐(ハリギリ)の意味で葉の大きいことを桐に見立てて、枝に針があることから来ています。



**11 ハウチワカエデ**  
カエデ科 カエデ属  
胸高直径 12cm  
樹高 5m  
羽団扇カエデ、葉の形を鳥の羽で作った団扇(多くは天狗が持つ)にたとえました。庭木、公園樹等、材は建築材、器具材等に使われます。



**8 サワグルミ**  
クミ科 サワグルミ属  
胸高直径 86cm  
樹高 30m  
渓流の脇に生えることから沢グルミといわれます。材はやわらかく、家具の内張、桶、マッチの軸木などに使われます。

炊事棟



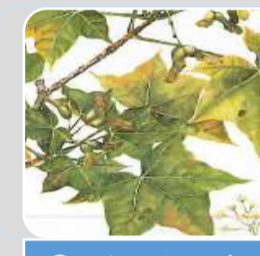
**3 イヌザクラ**  
バラ科 サクラ属  
胸高直径 57cm  
樹高 15m  
山野の日当たりの良い谷間などに生える落葉広葉樹です。葉や枝をもむと青臭いにおいがします。



**2 ブナ**  
ブナ科 ブナ属  
胸高直径 100cm  
樹高 27m  
温帯の代表的な樹木で世界遺産の白神山などで有名です。果実はツキノワグマなど野生動物の貴重な餌となっています。



**1 サワシバ**  
カバノキ科 クマシデ属  
胸高直径 31cm  
樹高 18m  
山地の沢沿いなど湿気のあるところを好みます。サワシバは山間の谷間に生えているところから来ています。



**29 イタヤカエデ**  
カエデ科 カエデ属  
胸高直径 90cm  
樹高 26m  
庭木、公園樹、街路樹や家具材、楽器等に利用されています。名前は葉が良く茂り、ちょうど板で屋根を葺いた板屋根のように雨がもれることはない意味から来ています。



**10 カツラ**  
カツラ科 カツラ属  
胸高直径 199cm  
樹高 28m  
花粉の化石が白亜紀(1億4000万前から6500万年前)の地層から発見され、かなり古い時代から生き残ってきた植物とされています。



**9 マルバカエデ**  
(ヒトツバカエデ)  
カエデ科 カエデ属  
胸高直径 10cm  
樹高 7m  
一つ葉カエデは、分裂しない単葉カエデという意味です。建築材、器具材等に使われます。



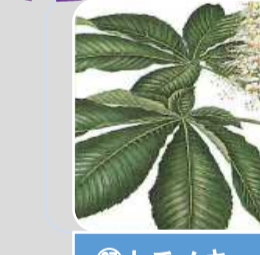
**6 ウワミズザクラ**  
バラ科 サクラ属  
胸高直径 22cm  
樹高 16m  
上溝桜が転訛したもので、昔いを行うとき、この材の上面に溝を彫って使ったので上溝といわれます。床柱や器具材等、樹皮は桜皮細工に使用されます。



**5 アカシデ**  
カバノキ科 クマシデ属  
胸高直径 30cm  
樹高 18m  
名前は、新芽が紅色をしており、秋に葉も赤く紅葉するところから来ています。庭木のほか、盆栽によく利用されています。



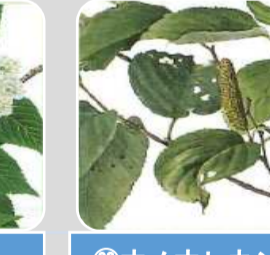
**4 ハクウンボク**  
エゴノキ科 エゴノキ属  
胸高直径 25cm  
樹高 14m  
名前は、樹上に白花を満開にした様子が、白雲のようであるところから由来しています。庭木、公園、寺院によく植えられています。



**27 トチノキ**  
トチノキ科 トチノキ属  
胸高直径 140cm  
樹高 28m  
街路樹としても植えられています。秋には実がなり、手を掛けて食べることができます。漆器や家具材として利用されています。



**26 アズキナシ**  
バラ科 ナナカマド属  
胸高直径 26cm  
樹高 17m  
名前を小豆梨と書き、果実が梨と比べて小さいためです。別名をハカリノメと呼び、枝の上に散在する白い皮目を秤の目盛りに見立てたものです。樹皮は染料になります。



**23 オノレカンパ**  
カバノキ科 カバノキ属  
胸高直径 40cm  
樹高 20m  
材は緻密で強く、建築材等やクシ、そろばんの玉に使われています。木が非常に堅くて切るとき斧が折れるほどだと言ったところからこの名前が付けられました。



重茂半島の「巨木の森十二神」は、多様な動物植物が共生できる森林生態系で、豊かな水を三陸の海に供給しています。三陸リアス海岸は、その美しい森林と織りなす素晴らしい自然景観から「三陸復興国立公園」に指定され、また、「三陸ジオパーク」では地球の営みも体感できます。

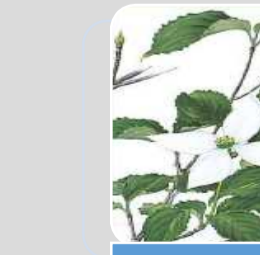
**21 ミズナラ**  
ブナ科 コナラ属  
胸高直径 166cm  
樹高 26m  
ブナとともに日本の温帯林を代表する木です。木目が美しく、高級家具材として、また火力の良い炭ができるため薪炭材として利用されています。名前は、材に多量の水分が含まれていて、たやすく燃えないところから来ています。



**18 アオダモ**  
モクセイ科 トネリコ属  
胸高直径 14cm  
樹高 8m  
材は粘りがあり、野球のバットや二足のラケットなどに使用されています。名前の由来は枝を切った水につけると青くなることから来ています。

上級コース(ベテラン用)

奥十二神併用林道に到着



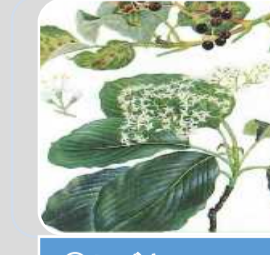
**25 ヤマボウシ**  
ミズキ科 ミズキ属  
胸高直径 36cm  
樹高 15m  
秋になり実が熟すと食べることができます。街路樹に使われています。名前は、丸いつぼみの集まりを坊主頭に、白い総苞を頭巾(ずきん)に見立てた山法師から来ています。



**24 アカマツ**  
マツ科 マツ属  
胸高直径 76cm  
樹高 28m  
秋の味覚の松茸はこの根に寄生し生えます。材は粘りがあり、梁をはじめ建築材に使われます。古くから火力の強い木炭として使われました。



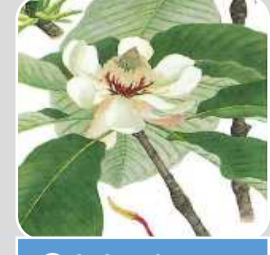
**22 クリ**  
ブナ科 クリ属  
胸高直径 104cm  
樹高 26m  
春に花が咲くと、甘いにおいがします。秋には実がなり昔から山の幸として食べられています。材は腐りにくく、家の土台や板屋根、彫刻材等に使われています。



**7 ミズキ**  
ミズキ科 ミズキ属  
胸高直径 22cm  
樹高 15m  
名前の由来は、樹液が多く春先枝を折ると水がしたたり落ちることから。1月のどんと焼きの時、たんごを刺す木に使います。



**20 ミズメ**  
カバノキ科 カバノキ属  
胸高直径 96cm  
樹高 24m  
樹皮を傷つけるとサロメチルのおいになります。材は建築材、家具材に使われます。ナタで樹皮を傷つけると透明な水のような油がしみ出るところからこの名前が付けられました。



**19 ホノノキ**  
モクレン科 モクレン属  
胸高直径 56cm  
樹高 23m  
大型で芳香のある花を上向きに咲かせます。材は柔らかく、きめが細かなことから、昔は刀の鞘、版木、楽器材など、葉は食べ物や包むのに使われます。

※胸高直径とは、地上より1.2m位置の計測です。